

人民元読本

～今こそ知りたい！中国通貨国際化のゆくえ～

金融経済新聞

2014年
11月10日

書籍

体系的、権威的に解説

中国共産党の青年組織、中国共産主義青年団発行の全国紙「中国青年報」の元記者である段羅中氏が日本で立ち上げた出版社が発行した「人民元」の解説書。野村資本市場研究所の関志雄シニアフェローは「人民元に関する最も体系的かつ権威的解説」と推奨する。



新たな国際通貨として世界を動かすと見られる中国通貨の人民元の貨幣史や為替制度、資本移動の自由化、国際通貨制度など多様な角度から分析している。

中国人民大学学長の著者は著名な経済学者でもあり、中国銀行の貨幣（金融）政策委員会の委員も務めているという、いわばオーソリ

人民元読本

陳雨露著 森宣之訳 日本僑報社 (2376円)

リティ中のオーソリ。「理論と政策の双方を熟知するという優位性を十分発揮した一冊」（関氏）と評するのもうなすける。

中国の金融自由化はいつどんな形で実現するのか？人民元はユーロやドル同様に国際通貨としてグローバル経済に影響を与えるようになるのか、など目下の関心事を紐解く。期待される対中国ビジネスはとてつもない市場が相手。それだけに中国経済金融のスキルアップは不可欠だろう。幅広い読者層を意識したテキストでもある。

両国の関係は常に微妙な空気に包まれている。段羅中氏が出版社を設立した背景には「中国の良面も日本人に知ってもらいたい、さらにその逆も」という純粋な思いがある。売れ筋を軒並み発売する、という商売の対極、本の一冊一冊に丁寧さがある。

(月)



推薦の言葉 関志雄氏 (野村資本市場研究所 シニアフェロー)

「人民元に関する最も体系的かつ権威的解説」

本書は、貨幣史や、為替制度、資本移動の自由化、国際通貨制度など、様々な角度から人民元を分析している。著名な経済学者で中央銀行の貨幣（金融）政策委員会の委員も務めている著者が理論と政策の双方を熟知するという優位性を十分発揮した一冊である。

【著者紹介】

陳雨露 (チェン・ユイルー) 中国人民大学学長。中国トップクラスの金融学教授。中国の中央銀行である中国人民銀行の通貨（金融）政策委員会委員。主な研究分野は、開放経済下の金融理論と政策、国際資本市場など。現在、中国国際金融学会副会長、中国金融学会副秘書長、常務理事などを兼任。

【訳者紹介】

森宣之 (もり・のぶき) 1956 年愛知県生まれ。現在中国などの海外に製造拠点を置く中堅アパレルメーカーの取締役管理部長。証券アナリスト試験合格。日本僑報社創設の出版翻訳プロ養成スクール「日中翻訳学院」の修了生で、主に金融に関する翻訳を専門的に学ぶ。

ご注文は、日本僑報社 e-shop (中国研究書店) をご利用いただくか、またはこのチラシを書店にご提示ください。(トーハン 日販 取次コード：5752)

御注文	送信 FAX 03-5956-2809		人民元読本		番線印
	御住所 〒		ISBN 978-4-86185-147-6		
	御氏名		発行日：2014 年 7 月 30 日		
	御電話		四六判 208 頁 定価：本体 2200 円 + 税		
			注文部数	部	
			日本僑報社 e-shop http://duan.jp		

発行元：日本僑報社 〒171-0021 東京都豊島区西池袋 3-17-15 Tel: 03-5956-2808 Fax: 03-5956-2809 info@duan.jp <http://jp.duan.jp>

●三菱東京UFJ銀行 池袋西口支店 (普) 5271402 カ) ニホンキョウハウ ●郵便振替口座番号 00140-3-583886

※振込手数料はお客様負担をお願いします